

はっじめの一步

ジェリド

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

はじめの一步の幕之内 一步に憑依してしまった主人公の物語
適当なあらすじでさーせん

目次

ROUNDD 1 The first
step? | 1 s

ROUND 1 The first step!?

side 一歩?

ん?あれ俺なにしてるん?確かはじめの一步読んで寝たんだよな……

てか……ここどこ?なんか磯くさっ!えっ?!磯くさっ!俺の家つて山の中だからこんな匂いしないはずなのに、それになんか体が縮んでる気がするの、は気のせいかな?いいや気のせいじゃない!?腕短っ!手小さっ!なにこれ小学生ぐらいの大きさじゃん!

はっ!まさか……これは二次創作とかでよくある憑依転生か神様転生なのでは!?それならばまずは情報収集をせねば!おつ、こんなところに教科書がなになに……小学校三年生 こくぐ『3年1組25番まくのうち いつぽ』ふむふむ……『まくのうち』ねえ……『まくのうち』!?

『まくのうち』つてあの『幕之内』?ていうと俺ははじめの一步の一步に憑依したつて何か!?

「ええええええええ!」

「どうしたの一步?大丈夫?」

やべっ！大きな声を出しちまった、ど、どーしよう？

とりあえず一歩ほい感じでかえしとこう

「ご、ごめんちよつと目の前に虫がいてびっくりしただけー！」

「あら、そう？あんまり大きな声を出すんじゃないよ」

「は、はーい」

とりあえず大丈夫か：： 状況整理をしよう

俺は幕之内 一步（9才） 将来はプロボクサー

こんなもんしか整理出来ねー！そういえば一歩つて言えばイジメられっ子なんだっけ？まあ、俺は前世じゃあ大人だったからそれ相応の対応をしてあげよーじゃないか！それと家の手伝いとか走ったりして体を鍛えようプロボクサーになるためにもね！

8年後……

お久しぶり！えつとね、いちいち小学校とか中学校の様子とか作者が、書くのだからいいから？なんか、キンクリって裏技つかつたらしーのよ！とりあえず原作の開始まで跳んだという電波を受け取った！

「ねえ？幕之内くんも行くようよお？」

「え？ごめんちよつと考え事してて聞いてなかったからもちかい言ってもらえる？」

「お、おう皆で映画観に行こうって話になってな」

「なるほど、わりーけどパスで家の手伝いが有ってさ行きたいけど行けないから、また今度誘ってよ」

「そう、なら仕方ないよね」

「んじや行こうぜえ」

やつといったか、映画だかなんだか知らんが俺は体を鍛えるのに精一杯なんだよ！

まったたく… またこうして俺のボツチ化がすすんだな…… ちくせう…

さつ、帰りますか…

帰宅中

はあこの幕之内ボディは凄いね鍛えれば鍛えるほどしっかりと結果が着いてくるね

！天性の肉体を持つていたのかもね

「よお、一歩じゃねーか」

「やあ、梅沢君じゃないか… どうぞ」

道を譲る俺ってマジで紳士ダワーwww

「ん？何か匂わねーか？」

ん？

「そうつすね何か匂いますね」

「そうかな？別に変な匂いなんかしないけどな？」

「お前だよ！お前から変な匂いがでてんだよ！」

グオツ!? ツツ！いきなり腹蹴るか普通!?

「何すんのさ！いきなり！」

「おめえが毎日毎日ミミズなんか触ってつから変な匂いすんだろが！」

「商売道具なんだから、しよーがないだろ？それとミミズじゃなくて青イソメだよ」

「うるせえ！んなこたあどうだつて良いんだよ！」

ぐつ！あう…： めんどくさいけど手をあげたら負けだ母さんに迷惑をかけちゃう…：

耐えて、耐えて、耐えねば

「お前でこれぐらいつて事は母ちゃんはもつと臭いんだろうな！へへへっ！」

あ？なんつったこいつ？母さんの方が臭いつて？こいつああれか頑張ってる奴を馬鹿にするタイプか、俺の嫌いなタイプだ

それに別にマザコンでは無いが仮にも育ててくれた自分の母親を馬鹿にされるのと同じが馬鹿にされるのじゃ全然違う、俺の事を馬鹿にするのはいいが母さんを馬鹿にされるのは違う許されざる事だ！

「おい、今なんて言った？」

「あ？お前の母ちゃんの方が臭いんじゃないのって言ったんだよ！」

「そうか…： 後悔するなよ、この糞共があ！」

全員ワンパンで仕留めてやるボクシングはな前世に高校の部活でやってたんだよ！
何処がキクかなんて分かるんだよ！

「お前らやつちまうぞ！」

『お、おう！』

side：鷹村

ドコオツ！バキツ！

ん？何の音だア？喧嘩かあ？ニヤニヤ

どれどれ？1対3とは！リンチかよ…たくつ

それにしてもあの1人の方はいい動きをしてるなこりやあ良い拾いモンかもなクツ
クツクツ

さて、そろそろ終わったかなつと

「おい、大丈夫かっ？」

「さっ、流石に1対3は辛かっ…た…です」バタツ

「あくあ伸びちまった、おいお前らこれ以上やるなら俺様が相手になるが、どうする？」

「くそっ！おぼえてやがれ！」

「待ってくださいよオ梅沢さん」

たくつ、さてコイツをどうするかね…とりあえずジムに行けば治療道具もあるしジ

ムに連れてくか

side: 一歩

シュツ！シュツ！バシツ！バシーン!!

…… ツ！…… は？まさか！鴨川ジムか結局原作みたいに気絶しちゃったの

か…… 情けねえ

それにしても初めてジムに来たな、以外と広いもんだな

「おつ鷹村さん！気がついたっぽいですよ」

To be continued……